



Studio Manager

for DM 2000 / DM 1000 /
O2R96 / O1V96

インストールガイド

ご注意

- ・ このソフトウェアおよび取扱説明書の著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ 巻末にこのソフトウェアのご使用条件が記載されています。このソフトウェアをインストールする前に、必ずこのご使用条件をお読みください。ディスクの包装を解かれた場合は、このソフトウェアのご使用条件に同意したことになります。
- ・ このソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ 市販の音楽データは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家に相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・ このソフトウェアおよび取扱説明書を運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ このソフトウェアのCD-ROM は、オーディオ用ではありません。一般のオーディオ用CDプレーヤーでは絶対に使用しないでください。
- ・ この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、最終仕様と異なる場合がありますのでご了承ください。
- ・ アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、別紙または別冊で対応させていただきます。

商標について

Macintosh, AppleおよびPower Macintoshは、米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商品です。

Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商品です。

Mac OSは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における商標です。

Intel, PentiumおよびCeleronはインテル社の商標および登録商標です。

OMSはOpcode Systems, Inc.の商標です。

SmartMedia(スマートメディア)は(株)東芝の商標です。

「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。

その他記載の社名および製品名は、各社の商標および登録商標です。

YAMAHAホームページ:

<http://www.yamaha.co.jp/product/proaudio/>

仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

目 次

1	操作の前に	4
	はじめに	4
	CD-ROM の内容	4
	Windows の動作環境条件	5
	Macintosh の動作環境条件	6
	本体とコンピュータの接続	7
	本体の設定	7
2	Windows へのインストール	8
	Acrobat Reader のインストール	8
	USB MIDI ドライバのインストール	8
	ヤマハ CBX ドライバのインストール (DM2000、02R96 のみ)	15
	DM2000 用 Studio Manager のインストール	15
	DM1000 用 Studio Manager のインストール	15
	02R96 用 Studio Manager のインストール	15
	01V96 用 Studio Manager のインストール	15
	Card Filer のインストール (DM2000 のみ)	15
3	Macintosh 上でのインストール	16
	Acrobat Reader のインストール	16
	OMS (Open Music System) のインストール	16
	USB MIDI ドライバのインストール	17
	DM2000 用 Studio Manager のインストール	18
	DM1000 用 Studio Manager のインストール	18
	02R96 用 Studio Manager のインストール	18
	01V96 用 Studio Manager のインストール	18
	Card Filer のインストール (DM2000 のみ)	18
	OMS のセットアップ	19
4	基本操作とセットアップ	20
	Studio Manager の起動	20
	Studio Manager の終了	20
	Windows : MIDI ポートの設定 (DM1000/01V96 のみ)	20
	Studio Manager の設定	21
	Studio Manager の同期	22
	セッションでの操作	23
5	トラブルシューティング	24

第1章 操作の前に

はじめに

ヤマハ Studio Manager を使用して、Windows または Macintosh コンピュータから DM2000、DM1000、02R96、01V96 以下、本体) をコントロールできます。

このインストールガイドでは Studio Manager と、Windows/Macintosh コンピュータに必要なドライバのそれぞれのインストール方法を説明します。Studio Manager の使用方法は、CD-ROM にある PDF 形式の Studio Manager 取扱説明書をお読みください。本体の操作方法は各本体の取扱説明書をお読みください。

CD-ROMの内容

DM2000/02R96に付属のCD-ROM

	フォルダ名	ソフトウェア	内容
Windows	Acroread_¥Japanese	Acrobat Reader ^(*) 、 ^(*)	PDF 形式の説明書を閲覧するためのソフトウェア
	SM_¥DM2000	DM2000 用 Studio Manager ^(*)	DM2000 用ヤマハ Studio Manager
	SM_¥02R96	02R96 用 Studio Manager ^(*)	02R96 用ヤマハ Studio Manager
	Mididrv_	YAMAHA CBX Driver	ヤマハシリアルドライバ (PC とシリアル接続する場合に必要)
	USBdrv_	YAMAHA USB MIDI Driver (Windows 98, Me)	ヤマハ USB ドライバ (PC と USB 接続する場合に必要)
	USBdrv2k_	YAMAHA USB MIDI Driver (Windows 2000, XP)	
	Card_	Card Filer ^(*)	DM2000 のスマートメディアに保存されているデータを転送、管理するためのヤマハユーティリティプログラム
Macintosh	Acroread_¥Japanese	Acrobat Reader ^(*) 、 ^(*)	PDF 形式の説明書を閲覧するための Adobe Acrobat Reader ソフトウェア
	SM_¥DM2000	DM2000 用 Studio Manager ^(*)	DM2000 用ヤマハ Studio Manager
	SM_¥02R96	02R96 用 Studio Manager ^(*)	02R96 用ヤマハ Studio Manager
	OMS_	Open Music System (OMS) 2.3.8 ^(*) 、 ^(*)	Mac 上で MIDI アプリケーションを使用するための、Opcode ドライバソフトウェア
		YAMAHA OMS Setup	DM2000、02R96 で使用するための OMS スタジオセットアップファイル
	USBdrv_	YAMAHA USB MIDI Driver	ヤマハ USB ドライバ (Mac と USB 接続する場合に必要)
	Card_	Card Filer ^(*)	DM2000 のスマートメディアに保存されているデータを転送、管理するためのヤマハユーティリティプログラム

*1. アプリケーションの使用方法については、インストール後に PDF マニュアルをご参照ください。

*2. ヤマハはこのソフトウェアをサポートしていません。

DM1000/01V96に付属のCD-ROM

	フォルダ名	ソフトウェア	内容
Windows	Acroread_¥Japanese	Acrobat Reader ^(*) 、 ^(*)	PDF 形式の説明書を閲覧するためのソフトウェア
	SM_¥DM1000	DM1000 用 Studio Manager ^(*)	DM1000 用ヤマハ Studio Manager
	SM_¥01V96	01V96 用 Studio Manager ^(*)	01V96 用ヤマハ Studio Manager
	USBdrv_	YAMAHA USB MIDI Driver (Windows 98, Me)	ヤマハ USB ドライバ (PC と USB 接続する場合に必要)
	USBdrv2k_	YAMAHA USB MIDI Driver (Windows 2000, XP)	
Macintosh	Acroread_¥Japanese	Acrobat Reader ^(*) 、 ^(*)	PDF 形式の説明書を閲覧するための Adobe Acrobat Reader ソフトウェア
	SM_¥DM1000	DM1000 用 Studio Manager ^(*)	DM1000 用ヤマハ Studio Manager
	SM_¥01V96	01V96 用 Studio Manager ^(*)	01V96 用ヤマハ Studio Manager
	OMS_	Open Music System (OMS) 2.3.8 ^(*) 、 ^(*)	Mac 上で MIDI アプリケーションを使用するための、Opcode ドライバソフトウェア
		YAMAHA OMS Setup	DM1000、01V96 で使用するための OMS スタジオセットアップファイル
	USBdrv_	YAMAHA USB MIDI Driver	ヤマハ USB ドライバ (Mac と USB 接続する場合に必要)

*1. アプリケーションの使用方法については、インストール後にPDFマニュアルをご参照ください。

*2. ヤマハはこのソフトウェアをサポートしていません。

Windowsの動作環境条件

お使いのオペレーティングシステムによって、動作環境条件が以下とは異なる場合があります。

Studio Manager

コンピュータ	433 MHz 以上の Intel Pentium または Celeron 系プロセッサ搭載の PC
OS	Windows 98SE, Me, 2000, XP Home Edition, XP Professional
メモリー	128 MB 以上
ハードディスク	20 MB 以上の空き容量
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル、256 色以上 1280 × 1024, High Color 16 ビット推奨 (ディスプレイ解像度設定が 1024 × 768 の場合、[スタート → 設定 → タスクバーとスタートメニューのプロパティ] でタスクバーの「自動的に隠す」をオンにしてください。)

Card File^(*) (DM2000のみ)

コンピュータ	100 MHz 以上の Intel Pentium または Celeron 系プロセッサ搭載の PC
OS	Windows 95, 98, 98SE, Me, NT4.0, 2000, XP Home Edition, XP Professional
メモリー	8 MB 以上
ハードディスク	2 MB 以上の空き容量
ディスプレイ	800 × 600 ピクセル、256 色以上

Yamaha USB MIDI Driver

コンピュータ	166 MHz 以上の Intel Pentium または Celeron 系プロセッサと USB 端子搭載の PC
OS	Windows 98, 98SE, Me, 2000, XP Home Edition, XP Professional
メモリー	32 MB 以上
ハードディスク	2 MB 以上の空き容量

Yamaha CBX Driver (DM2000, 02R96のみ)

OS	Windows 95, 98, 98SE, Me, NT4.0, 2000, XP Home Edition, XP Professional
----	---

上記に記載のない動作環境条件はCD-ROM上のファイルをご参照ください。

Macintoshの動作環境条件

お使いのオペレーティングシステムによって、動作環境条件が以下とは異なる場合があります。

Studio Manager

コンピュータ	Macintosh G3/233 MHz 以上、USB 端子搭載
OS	Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 (Mac OS X は対応していません)
メモリー	120 MB 以上の空きメモリー (仮想メモリーはオフにしてください)
ハードディスク	7 MB 以上
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル、256 色以上 1280 × 1024, 32,000 色推奨
その他	OMS 2.3.3 以上

ノート: PowerBookをバッテリーで使いの場合は、「省エネルギー設定」コントロールパネルを開き、「プロセッササイクリング」をオフにしてください。

Card Filer(DM2000のみ)

コンピュータ	PowerPC 以上のプロセッサ搭載の Macintosh コンピュータ
OS	Mac OS 7.5 ~ 9.2.2 (Mac OS X は対応していません)
メモリー	8 MB 以上の空きメモリー
ハードディスク	6 MB 以上
ディスプレイ	800 × 600 ピクセル、256 色以上

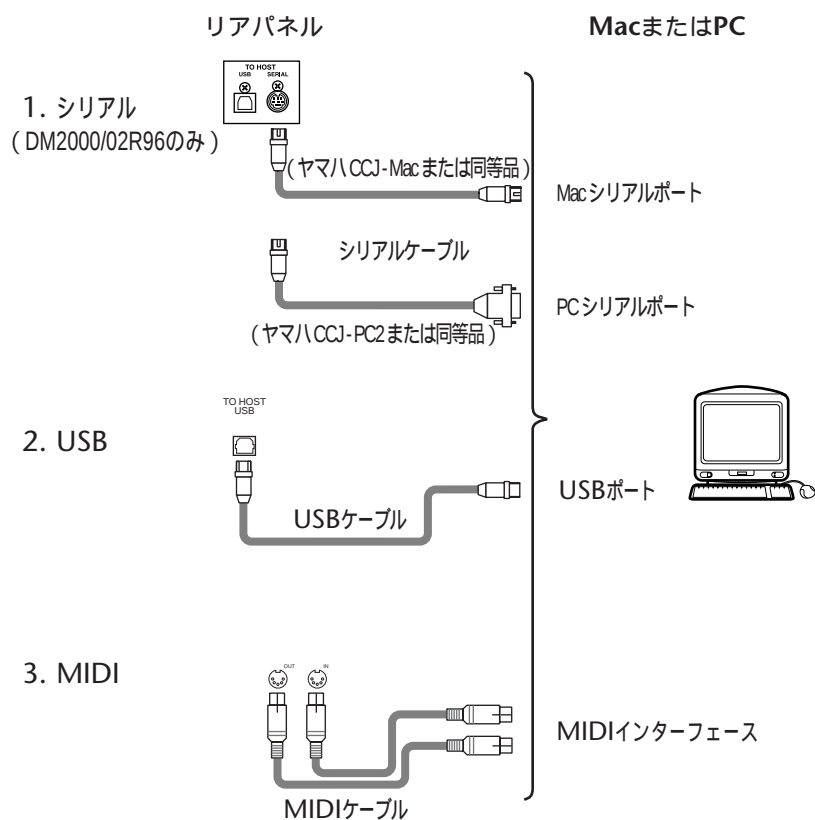
ヤマハUSB MIDIドライバ

コンピュータ	PowerPC 以上のプロセッサ、USB 端子搭載の Macintosh コンピュータ
OS	Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 (Mac OS X は対応していません)
メモリー	64 MB 以上 (推奨: 128 MB 以上)
ハードディスク	2 MB 以上

上記に記載のない動作環境条件はCD-ROM上のファイルをご参照ください。

本体とコンピュータの接続

以下の図は、本体とコンピュータを接続する3つの方法(シリアル、USB、MIDI)を示したものです。



ノート: シリアルポートまたはMIDIポートに接続する前に、本体とコンピュータの電源を必ず切ってください。

本体の設定

本体画面上で、DISPLAY ACCESS[SETUP]キー*を使ってMIDI/TO HOST Setupページを表示させます。「Studio Manager」パラメーターでポートを選択し、本体のIDを指定します。シリアル接続の場合はTO HOST SERIALも必要に応じて設定します。(例:Windows なら「PC-2」、Macintoshなら「Mac」)。

注意: Windows コンピュータをシリアル接続しているときは、TO HOST SERIAL の設定を絶対に「Mac」にしないでください。コンピュータが破損する場合があります。

* 01V96では、DISPLAY ACCESS[DIO/SETUP]キーです。

第2章 Windowsへのインストール

Acrobat Readerのインストール

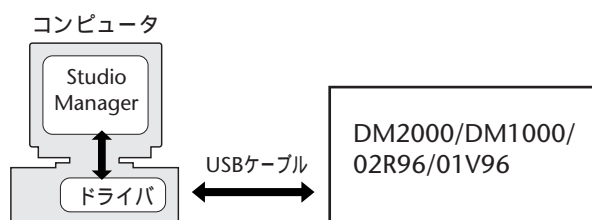
Studio Manager取扱説明書 PDF形式 をお読みになるには、Adobe Acrobat Readerソフトウェアのインストールが必要です。このソフトウェアはCD-ROM内にあります。このソフトウェアがすでにインストールされている場合は、次のセクションに進んでください。

- 1 コンピュータの電源を入れ Windows を起動してから、付属の CD-ROM をコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。
- 2 CD-ROM上の「Acroread_」フォルダをダブルクリックします。
このフォルダには複数言語に対応したAcrobatソフトウェアが入っています。
- 3 「Japanese」フォルダをダブルクリックします。
- 4 「ar***jpn.exe」(***にはバージョン番号が入ります)をダブルクリックします。
- 5 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。

Acrobat Reader の操作方法は、Acrobat Readerの[ヘルプ]メニューから[Reader オンラインガイド]をお読みください。

USB MIDIドライバのインストール

本体とコンピュータをUSB 接続で使用する場合は、ヤマハUSB ドライバをインストールする必要があります。このドライバがすでにインストールされている場合は、次のセクションに進んでください。



USB ドライバのインストール手順は、お使いのWindowsのバージョンによって異なります。

- Windows 98 & 98SE :9ページ参照。
- Windows Me:12ページ参照。
- Windows 2000:13ページ参照。
- Windows XP:14ページ参照。

Windows 98 & 98SEへのインストール

- 1 コンピュータの電源を入れ Windows を起動してから、付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。
- 2 本体の電源を切り、USB ケーブルを使って本体の USB TO HOST 端子と、コンピュータの USB 端子を接続します。
- 3 本体の電源を入れます。
「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。表示されない場合は、USB ケーブルを一度外してからもう一度接続してください。または、「新しいハードウェアの追加」コントロールパネルを開きます。



- 4 [次へ] をクリックします。
以下の画面が表示されます。

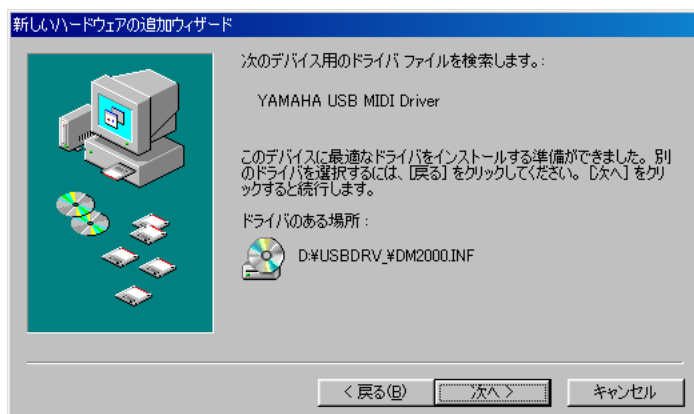


- 5 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、[次へ] をクリックします。

以下の画面が表示されます。



- 6 「検索場所の指定」を選択し「D:¥USBdrv_」(D: は、お使いの CD-ROM ドライブのアルファベットに置き換えてください)を指定してから[次へ]をクリックします。
ドライバが見つかると、以下のように「YAMAHA USB MIDI Driver」と表示されます。



- 7 「次へ」をクリックします。

ノート: Windows CD-ROMの挿入を求める表示が現れる場合がありますが、CD-ROMを挿入しないでください!

[OK] をクリックし、読み込み先を「D:¥USBdrv_」(D: は、お使いの CD-ROM ドライブのアルファベットに置き換えてください)と入力し、[OK] をクリックしてください。

ドライバがインストールされ、完了すると次の画面が表示されます。



- 8 [完了] をクリックし、コンピュータを再起動します。

Windows Me

- 1 コンピュータの電源を入れ Windows を起動してから、付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROMドライブに挿入します。
- 2 本体の電源を切り、USB ケーブルを使って本体の USB TO HOST 端子と、コンピュータの USB端子を接続します。
- 3 本体の電源を入れます。
「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。表示されない場合は、USBケーブルを一度外してからもう一度接続してください。または、「新しいハードウェアの追加」コントロールパネルを開けます。



- 4 「適切なドライバを自動的に検索する (推奨)」を選択し「次へ」をクリックします。
ドライバのある場所が自動検出されたら、手順5に進んでください。ドライバが見つからない場合は、「ドライバの場所を指定する (詳しい知識のある方向け)」を選択して「次へ」をクリックし、お使いの CD-ROM ドライブの「USBdrv_」フォルダ (例: D:\USBdrv_) を指定してから指示に従います。
インストールが完了すると以下の画面が表示されます。



- 5 「完了」をクリックし、コンピュータを再起動します。

Windows 2000

- 1 コンピュータの電源を入れWindowsを起動し、Administrator権限のあるアカウントでログインします。付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。
- 2 [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[システム]→[ハードウェア]→[ドライバの署名]→[ファイルの署名の確認]と選択し、「無視 - ファイルの署名に関係なく、すべてのファイルをインストールする」を選択して[OK]をクリックします。
- 3 本体の電源を切り、USBケーブルを使って本体のUSB TO HOST端子と、コンピュータのUSB端子を接続します。
- 4 本体の電源を入れます。
「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示されます。
- 5 [次へ]をクリックします。
- 6 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、[次へ]をクリックします。
- 7 続いて表示される画面で「CD-ROMドライブ」のみを選択し、[次へ]をクリックします。

ノート: Windows CD-ROMの挿入を求める表示が現れる場合がありますが、CD-ROMを挿入しないでください!

[OK]をクリックし、読み込み先を「D:\USBdrv2k_」(D:は、お使いのCD-ROMドライブのアルファベットに置き換えてください)と入力し、[OK]をクリックしてください。

ドライバがインストールされ、「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」というメッセージが表示されます。

- 8 [完了]をクリックし、コンピュータを再起動します。

Windows XP

- 1 コンピュータの電源を入れ Windows を起動してから、付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROMドライブに挿入します。
- 2 [スタート]をクリックし、[コントロールパネル]をクリックします。

以下のコントロールパネルが表示されたら、画面左の欄にある「クラシック表示に切り替える」をクリックして、コントロールパネルをすべて表示させます。



- 3 [システム]-[ハードウェア]-[ドライバの署名]-[ドライバ署名オプション]と選択し、「無視 - ソフトウェアをインストールし、確認を求めない (I)」を選択してから[OK]をクリックします。
- 4 [OK]をクリックしてシステムのプロパティ画面を閉じ、[×]をクリックしてコントロールパネル画面を閉じます。
- 5 本体の電源を切り、USBケーブルを使って本体のUSB TO HOST端子と、コンピュータのUSB端子を接続します。
- 6 本体の電源を入れます。
「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されます。
- 7 「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)(I)」を選択し[次へ]をクリックします。
ドライバがインストールされ、「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」というメッセージが表示されます。
- 8 [完了]をクリックし、コンピュータを再起動します。

ヤマハ CBXドライバのインストール(DM2000、02R96のみ)

本体とコンピュータをシリアル接続で使用する場合は、ヤマハ CBX ドライバをインストールする必要があります。このドライバがすでにインストールされている場合は、次のセクションに進んでください。

- 1 CD-ROM 上の「Mididrv_」フォルダをダブルクリックします。
- 2 「Setup.exe」をダブルクリックします。
- 3 画面の指示に従ってドライバをインストールします。

DM2000用Studio Managerのインストール

- 1 CD-ROM 上の「SM_」フォルダをダブルクリックします。
- 2 「DM2000」フォルダをダブルクリックします。
- 3 「Setup.exe」をダブルクリックします。
- 4 画面の指示に従ってStudio Managerをインストールします。

DM1000用Studio Managerのインストール

- 1 CD-ROM 上の「SM_」フォルダをダブルクリックします。
- 2 「DM1000」フォルダをダブルクリックします。
- 3 「Setup.exe」をダブルクリックします。
- 4 画面の指示に従ってStudio Managerをインストールします。

02R96用Studio Managerのインストール

- 1 CD-ROM 上の「SM_」フォルダをダブルクリックします。
- 2 「02R96」フォルダをダブルクリックします。
- 3 「Setup.exe」をダブルクリックします。
- 4 画面の指示に従ってStudio Managerをインストールします。

01V96用Studio Managerのインストール

- 1 CD-ROM 上の「SM_」フォルダをダブルクリックします。
- 2 「01V96」フォルダをダブルクリックします。
- 3 「Setup.exe」をダブルクリックします。
- 4 画面の指示に従ってStudio Managerをインストールします。

Card Filerのインストール(DM2000のみ)

- 1 CD-ROM 上の「Card_」フォルダをダブルクリックします。
- 2 「Setup.exe」をダブルクリックします。
- 3 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。
Card Filer の操作方法は、Card Filer と同じフォルダにインストールされている「カードファイラマニュアル」をお読みください。

第3章 Macintosh上でのインストール

Acrobat Readerのインストール

Studio Manager取扱説明書 (PDF形式) をお読みになるには、Adobe Acrobat Readerソフトウェアのインストールが必要です。このソフトウェアはCD-ROM内にあります。このソフトウェアがすでにインストールされている場合は、次のセクションに進んでください。

- 1 コンピュータを起動し、付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。
- 2 CD-ROM上の「Acroread_」フォルダをダブルクリックします。
このフォルダには複数言語に対応したAcrobatソフトウェアが入っています。
- 3 「Japanese」フォルダをダブルクリックします。
- 4 「Japanese Reader Installer」をダブルクリックします。
- 5 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。
Acrobat Readerの操作方法是、Acrobat Readerの[ヘルプ]メニューから[アクロバットのヘルプ]をお読みください。

OMS (Open Music System)のインストール

Studio ManagerをMac上で使用するには、OMS 2.3.3以上が必要です。付属のCD-ROMにはOMS 2.3.8が含まれています。このソフトウェアがすでにインストールされている場合は、次のセクションに進んでください。

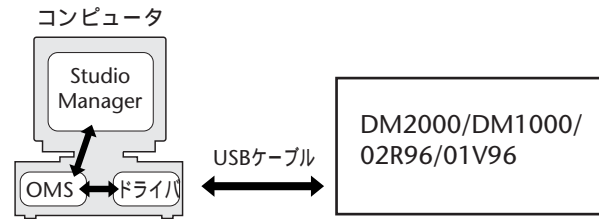
- 1 コンピュータを起動し、付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。
- 2 CD-ROM上の「OMS_」フォルダをダブルクリックします。
- 3 「Install OMS 2.3.8」をダブルクリックします。
- 4 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。
- 5 インストールが完了したら[Restart]をクリックします。

ノート: インストールが完了すると、「アプリケーションを終了することができませんでした」というエラーメッセージが表示されることがあります。その場合は「File」メニューから「Quit」を選択してインストーラを終了させ、コンピュータを再起動してください。

- 6 CD-ROM 上の「OMS_」フォルダから、「OMS_2.3J_Manual.pdf」ファイルをハードディスクの「Opcode:OMSアプリケーション」フォルダにコピーします。
「OMS_2.3J_Manual.pdf」は日本語版OMSのマニュアルです。
本CD-ROMには、英語版OMSの最新版(2.3.8)が収録されています。
必要に応じて、英語版のマニュアル「OMS_2.3_Mac.pdf」もご参照いただけます。

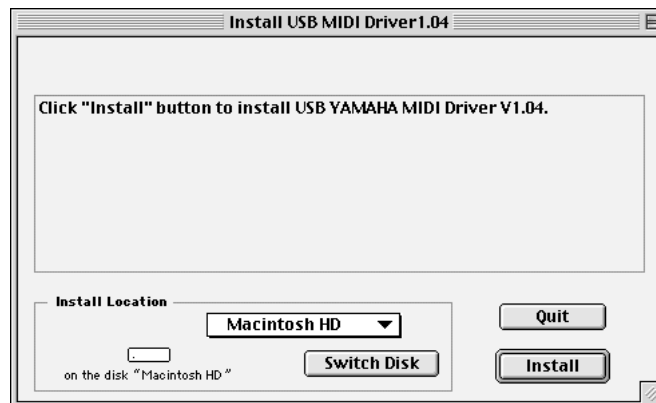
USB MIDIドライバのインストール

本体とコンピュータを USB接続で使用する場合は、ヤマハUSB ドライバをインストールする必要があります。このドライバがすでにインストールされている場合は、次のセクションに進んでください。



- 1 コンピュータを起動し、付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。
- 2 CD-ROM 上の「USBdrv_」フォルダをダブルクリックします。
- 3 「Install USB MIDI Driver」をダブルクリックします。

以下の「Install USB MIDI Driver」画面が表示されます。



初期設定ではインストールの場所として起動ディスクが選択されるので、特に指定する必要はありませんが、別のディスクを指定したい場合は、[Switch Disk]をクリックします。プルダウンメニューからフォルダを選択することもできますが、ファイルがインストールされるのは指定ディスクのシステムフォルダ内なので、フォルダを選択する必要はありません。

- 4 [Install]をクリックし、画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。
- 5 インストールが完了したら[Restart]をクリックします。

DM2000用Studio Managerのインストール

- 1 コンピュータを起動し、付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。
- 2 CD-ROM上の「SM_」フォルダをダブルクリックします。
- 3 「DM2000」フォルダをダブルクリックします。
- 4 「Install Studio Manager」をダブルクリックします。
- 5 画面の指示に従ってStudio Managerをインストールします。

DM1000用Studio Managerのインストール

- 1 コンピュータを起動し、付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。
- 2 CD-ROM上の「SM_」フォルダをダブルクリックします。
- 3 「DM1000」フォルダをダブルクリックします。
- 4 「Install Studio Manager」をダブルクリックします。
- 5 画面の指示に従ってStudio Managerをインストールします。

02R96用Studio Managerのインストール

- 1 コンピュータを起動し、付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。
- 2 CD-ROM上の「SM_」フォルダをダブルクリックします。
- 3 「02R96」フォルダをダブルクリックします。
- 4 「Install Studio Manager」をダブルクリックします。
- 5 画面の指示に従ってStudio Managerをインストールします。

01V96用Studio Managerのインストール

- 1 コンピュータを起動し、付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。
- 2 CD-ROM上の「SM_」フォルダをダブルクリックします。
- 3 「01V96」フォルダをダブルクリックします。
- 4 「Install Studio Manager」をダブルクリックします。
- 5 画面の指示に従ってStudio Managerをインストールします。

Card Filerのインストール(DM2000のみ)

- 1 コンピュータを起動し、付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。
- 2 CD-ROM上の「Card_」フォルダをダブルクリックします。
- 3 「Install Card Filer」をダブルクリックします。
- 4 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。

Card Filer の操作方法は、Card Filer と同じフォルダにインストールされている「カードファイラマニュアル」をお読みください。

OMSのセットアップ

付属のCD-ROM上にある「OMS Setup for YAMAHA」フォルダには、本体が使用するOMSスタジオセットアップファイルが入っています。

- 1 本体の電源を切り、USB ケーブルを使って本体の USB TO HOST 端子と、コンピュータのUSB端子を接続します。

SERIAL TO HOST 端子へ接続する場合は、シリアルケーブルでコンピュータのプリンターまたはモデムポートに接続してください。

- 2 本体の電源を入れます。
- 3 コンピュータを起動し、付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。
- 4 CD-ROM の「OMS_」フォルダを開け、「OMS Setup for YAMAHA」フォルダを開けます。

DM2000/02R96 の場合、このフォルダには次の 6 つの OMS スタジオセットアップファイルが入っています。

- DM2000-USB • DM2000-Modem • DM2000-Printer
- O2R96-USB • O2R96-Modem • O2R96-Printer

DM1000/01V96 の場合、このフォルダには次の 2 つの OMS スタジオセットアップファイルが入っています。

- DM1000-USB
- 01V96-USB

- 5 必要なファイルをコンピュータのハードディスクにコピーし、ダブルクリックします。

ノート：ここでAppleTalkダイアログが表示される場合は[Turn It Off]をクリックし、次のダイアログで[OK]をクリックします。

OMS セットアップが開始され、スタジオセットアップファイル画面が表示されます。

- 6 「File」メニューから「Make Current」を選択してセットアップを保存します。

ノート：StudioManager for DM2000/02R96 をお使いで、本体をモデムまたはプリンターポートに接続している場合は、「Edit」メニューの「Preferences」で「Use Apple SerialDMA driver when available」を選択してください。

上記のセットアップが終了すると、現在のOMSスタジオセットアップでは本体が唯一のMIDI機器となります。他のMIDI機器を使用したり、もう一台別の本体を追加するには、新規スタジオセットアップを作成してください。詳細は、「OMS_2.3J_Manual.pdf」ファイルをご参照ください。

第4章 基本操作とセットアップ

Studio Managerの起動

以下はStudio Manager for DM1000を起動する場合の例です。選択するメニューの内容はStudio Managerのバージョンによって異なる場合があります。

Windows:[スタート]ボタンをクリックし,[プログラム ->(YAMAHA OPT Tools->) YAMAHA Studio Manager for DM1000->Studio Manager for DM1000]の順にクリックします。

Macintosh:「 Studio Manager for DM1000 」フォルダを開き、「 SM_DM1K 」をダブルクリックします。

Studio Manager 起動時に本体が検出されると同期設定するためのダイアログボックスが表示されます。本体と Studio Manager の間のデータ転送を設定します。詳細は、22 ページの「 Studio Managerの同期」をご参照ください。本体が検出されない場合は、新規のコンソールウィンドウが開きます。



Studio Manager と本体が接続状態では、ONLINE インジケータが表示されます。本体が検出されない場合、OFFLINEインジケータが表示されます。

Studio Managerの終了

「 File 」メニューから「 Exit (Quit) 」を選択します。

変更内容がすべて保存されていれば、すべてのウィンドウが閉じ Studio Manager が終了します。一部でも変更内容が保存されていないと、その内容を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。[Yes]をクリックすると内容を保存してから終了します。[No]をクリックすると保存せずに終了します。また、[Cancel]をクリックすると操作が中止されます。コンソールウィンドウのクローズボタンをクリックしても、Studio Managerを終了できます。

Windows:MIDIポートの設定(DM1000/01V96のみ)

Studio ManagerでMIDIポートを選択する前にMIDI SetupツールバーでMIDIポートを設定する必要があります。

- 1 Studio Managerを起動します。
- 2 以下のようなMIDI Setupツールバーが表示されますので、MIDI Setupボタンをクリックします。



- 3 MIDI Setupボタンをクリックすると、MIDI Setupダイアログが表示されますので、本体が接続されているMIDI In/Out/Thruの各ポートを設定します。

ノート: Studio ManagerでMIDIポートを有効にするには、MIDI SetupとStudio Managerの両方でMIDIポートを選択する必要があります(上記のMIDI Setupダイアログで設定されたMIDIポートの中からどれを使用するかを選択になります)。
Studio Managerでの設定方法は後述の「 Studio Managerの設定 」および「 Studio Managerの同期」をご参照ください。

注意: OPT対応のホストアプリケーションでメニューにStudio Managerが表示されても、起動しないでください。
Studio Managerはホストアプリケーションからの呼び出しに未対応です。

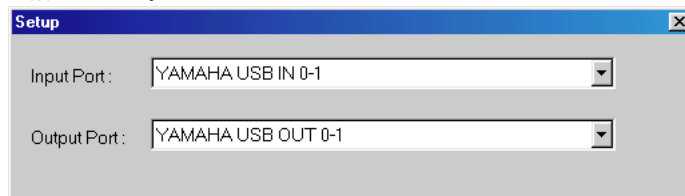
Studio Managerの設定

ノート: Windowsコンピュータをお使いの場合は、以下の設定の前にMIDIポートの設定(20ページ参照)をすませてください。

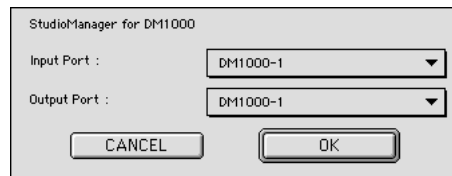
ポートの選択

Studio Managerを使用するには、本体と通信する入出力ポートを指定する必要があります。

Windows: 「File」メニューから「System Setup」を選択し、以下の「Setup」ダイアログボックスで入出力ポートを指定します。



Macintosh: 「File」メニューから「Select OMS Ports(OMS ポートの選択)」を選択し、以下のダイアログボックスで入出力ポート (OMS Studio Setup で設定したデバイス名) を指定します。



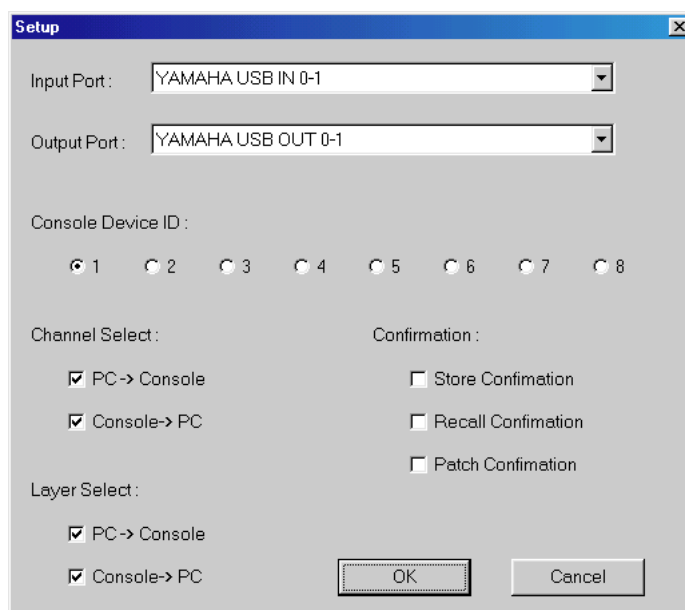
ノート: 「File」メニューから「OMS MIDI Setup」を選択し、「Run MIDI in Background」が選択されていることを確認してください。

「OMS Studio Setup」は「File」メニューから「OMS Studio Setup」を選択すれば、Studio Managerから直接開くことができます。

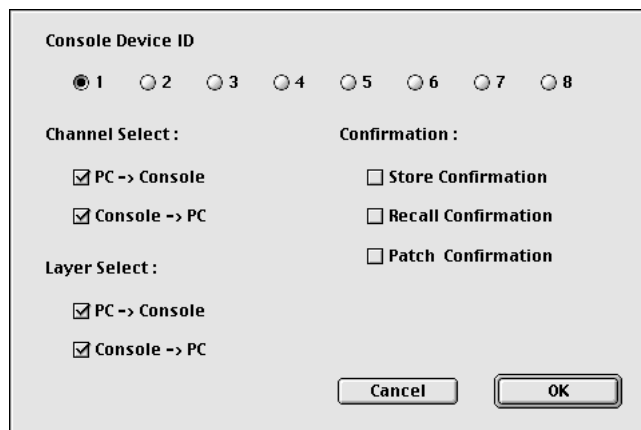
システムのセットアップ

セットアップ画面を開くには、「File」メニューから「System Setup」を選びます。

以下はWindowsの「Setup」画面です。



以下はMacintoshのセットアップ画面です。



Input Port/Output Port: (Windowsのみ) Studio Managerが本体と通信するポートを選択します。

Console Device ID: Studio Managerは専用のIDを持つ最高8台までの本体のうち任意の1台をコントロールできます。コントロールしたい本体のIDを選択します。

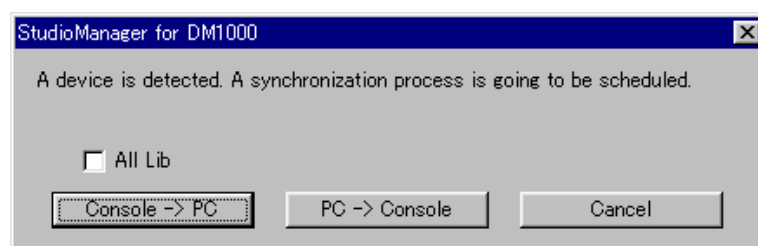
Channel Select: チャンネル選択をリンクするかどうかを設定します。PC->Console にチェックが入っていると、Studio Managerで選択したチャンネルと同じチャンネルが本体でも選択されます。Console->PC にチェックが入っていると、本体で選択したチャンネルが Studio Managerでも選択されます。

Confirmation: ストア、リコール、パッチ時に確認のダイアログボックスを表示させるかを設定します。

Layer Select: レイヤー選択をリンクするかどうかを設定します。PC->Consoleにチェックが入っていると、Studio Manager で選択したレイヤーと同じレイヤーが本体でも選択されます。Console->PC にチェックが入っていると、本体で選択したレイヤーが Studio Manager でも選択されます。

Studio Managerの同期

Studio Managerの起動 / 動作時に本体が検出されると、Studio ManagerとDM2000の間で設定を同期させるためのダイアログボックスが表示されます。



All Lib: シーン / ライブラリーデータを同期させるかどうかを設定します。

Console->PC: このボタンをクリックすると、本体の設定が Studio Manager の現在のセッションに転送されます。

PC->Console: このボタンをクリックすると、現在の Studio Manager の設定が本体に転送されます。

Cancel: このボタンをクリックすると、本体と現在の Studio Manager のセッションが同期されないままになります。

ノート: 同期進行中は本体を操作しないでください。

「Synchronization」メニューから「Re-synchronize」を選択すればいつでも再同期ができます。

セッションでの操作

Studio Managerのセッションは、シーン / ライブラリーデータなどを含む本体のすべてのミックス設定から構成されます。

- ・ 新規セッションの作成は、「File」メニューから「New Session」を選択します。
- ・ すでに保存してあるセッションを開くには、「File」メニューから「Open Session」を選択します。
- ・ 現在のセッションを保存するには、「File」メニューから「Save Session」を選択します。
- ・ 現在のセッションに新しい名前を付けて保存するには、「File」メニューから「Save Session as」を選択します。

ノート：現在のオートミックスまたはY56Kカード(オプション)の設定を含めてセッションを保存する場合は、保存する前にConsole->PCの同期を実行しておく必要があります。

ノート：Studio Managerに使用する通信ポート保護のため、本体の通信関連の設定(たとえば、MIDI、リモートレイヤー、マシンコントロール)はPC->Consoleの同期操作に影響されることはありません。

一度に開くことのできるセッションは1つだけです。新規セッションの作成や保存したセッションを開こうとした場合、「This operation will purge current session(操作を続けると現在のセッションが消去されます)」というメッセージが表示されます。変更内容がすべて保存されている場合や保存不要の場合は「OK」をクリックします。Studio Managerがオフラインであれば、セッションがロードされます。オンラインの場合はセッションがロードされ、同期設定のダイアログボックスが表示されます。

第5章 トラブルシューティング

本体をUSBでコントロールできない

- ・ ヤマハUSB MIDIドライバがインストールされていますか(Windows 8ページ、Mac 17ページ)?
- ・ USBケーブルが正しく接続されていますか?(7ページ)
- ・ 本体が正しく設定されていますか?(7ページ)
- ・ Studio Managerが正しいIIDに設定されていますか?(Studio Managerの説明書を参照)
- ・ Mac: OMSが正しく設定されていますか?(19ページ)

システムによっては付属のOMSスタジオセットアップファイルが正しく働かないことがあります。その場合は新規のスタジオセットアップを作成してください。詳細は、「OMS_2.3J_Manual.pdf」をご参照ください。

ヤマハUSB MIDドライバをインストールできない

- ・ USBケーブルが正しく接続されていますか?(7ページ)
- ・ USBケーブルを一度外してからまた接続してみてください。
- ・ Windows: USBが有効になっていますか?
本体を初めてコンピュータに接続した場合、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されないときは、コンピュータのUSBコントロールが無効になっていることがあります。これを確認するには、「システム」コントロールパネルを開き、「デバイスマネージャ」タブをクリックして、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」と「USBルートハブ」の項目の先頭に「×」印または「!」印が表示されているかをチェックしてください。印があると、USBコントローラは無効になっています。USBコントローラを有効にする方法は、コンピュータの説明書をご参照ください。
- ・ Windows: 何らかの理由でヤマハUSBドライバのインストールに失敗すると、本体が「不明なデバイス」として登録され、この登録を削除するまではドライバの再インストールができないことがあります。この場合は、「システム」コントロールパネルを開き、「デバイスマネージャ」タブをクリックして「種類別に表示」を選択します。リストに「その他のデバイス」という項目があれば、これをクリックします。その下に「不明なデバイス」という項目があれば、「削除」ボタンをクリックします。USBケーブルの接続を外し、再度接続してドライバをもう一度インストールしてください。

ヤマハUSB MIDIドライバをインストールした後、OMSが機能しない

- ・ Mac: ヤマハUSB MIDIドライバはMac OS 8.6 ~ 9.2.2に対応しています。それより以前のオペレーティングシステムにインストールすると、OMSは正しく機能しません。この場合は以下の手順でヤマハUSB MIDIドライバを削除してください。

ヤマハUSB MIDIドライバの削除と再インストール

- ・ Windows 98/Me: ヤマハUSB MIDIドライバが正しくインストールされ、本体も正しく認識されている場合は、次の手順でドライバを削除します。「システム」コントロールパネルを開き、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。次に「YAMAHA USB MIDI Driver」を選択し「削除」ボタンをクリックします。以下のファイルを削除したら、USBケーブルの接続を外し、再度接続してドライバを再インストールします。

Windows¥Inf¥Other¥YAMAHADM2000.INF	} いずれかひとつ
Windows¥Inf¥Other¥YAMAHADM1000.INF	
Windows¥Inf¥Other¥YAMAHA02R96.INF	
Windows¥Inf¥Other¥YAMAHA01V96.INF	
Windows¥System¥Xgusb.drv	
Windows¥System¥Ymidusb.sys	

- ・ Mac: 以下のファイルを削除すると、ドライバが削除されます。削除後、コンピュータを再起動しドライバを再インストールしてからOMSをセットアップします。

システムフォルダ:コントロールパネル:YAMAHA USB MIDI Patch

システムフォルダ:機能拡張:USB YAMAHA MIDI Diver

システムフォルダ:OMS Folder:YAMAHA USB MIDI OMS Driver

パフォーマンスの改善

- ・ コンピュータが応答しない場合は、システム条件を満たしているかチェックしてください (Windows 5ページ, Mac 6ページ)。
- ・ 使用していないアプリケーションを終了してください。
- ・ Mac: 仮想メモリーとAppleTalkをオフにしてください。

コンピュータの休止 / 再開ができない

- ・ Windows: MIDIアプリケーションが開いている場合、休止にはなりません。
- ・ Windows 2000: USBコントローラなどによっては休止 / 再開が正しく機能しないものがあります。本体が応答しなくなったら、USB ケーブルの接続を一旦外し、もう一度接続してみてください。

ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、＜ソフトウェア使用許諾契約＞を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

ディスクの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。

ご同意いただけない場合は、未開封のまま速やかに(14日以内に)ご返却ください(ただし、本ソフトウェアをソフトウェアパッケージの一部として、またはハードウェア商品の付属ソフトウェアとしてお求めいただいた場合、本ソフトのみの返却はお受けいたしません)。

ソフトウェア使用許諾契約

1 著作権および使用許諾

弊社はお客様に対し、本ソフトウェアを構成するプログラム、データファイル及び今後お客様に一定の条件付きで配布され得るそれらのバージョンアッププログラム、データファイル(以下「許諾プログラム」といいます)を、お客様ご自身が一時に一台のコンピュータにおいてのみ使用する権利を許諾します。これらの許諾プログラムが記録されているディスクの所有権は、お客様にあります。許諾プログラム自体の権利及びその著作権は、弊社が有します。

2 使用制限

許諾プログラムは著作権を持つ情報を含んでいますので、その保護のため、お客様が許諾プログラムを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他の方法により、人間が感得できる形にすることは許されません。許諾プログラムの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、転売、頒布または許諾プログラムの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。許諾プログラムをネットワークを通して別のコンピュータに伝送することも許されません。

3 終了

本使用条件はお客様が許諾プログラムをお受け取りになった日に発効します。本使用条件による使用許諾は、お客様が著作権法または本使用条件の条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに許諾プログラムとその複製をすべて廃棄しなければなりません。

4 製品の保証

弊社は、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日間に限り、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用など弊社の責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。

5 責任の制限

弊社は、許諾プログラムの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生や第三者からの賠償請求の可能性があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

6 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション(以下「第三者ソフトウェア」といいます)を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本使用条件にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。

弊社は、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を、明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様が負担しなければなりません。

弊社は、第三者ソフトウェアの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

7 一般事項

本契約は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。



この取扱説明書は
大豆油インクで印刷しています。

この取扱説明書は無塩素紙 (ECF: 無塩素系漂白パルプ) を使用しています。
この取扱説明書は再生紙を使用しています。

ヤマハマニュアルライブラリー
<http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>

M.D.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation
© 2003 Yamaha Corporation
WA88380 306IPAP3.2-02B0
Printed in Japan